

県内の景気動向

概況（2022年4月）

景気は、下げ止まりの動きがみられる

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

消費関連は入学式シーズン等で外出機会が増加したことなどにより、消費マインドの向上がみられ、下げ止まりの動きがみられること、建設関連は民間工事に再開の動きがみられるが、資材価格の上昇などを受け弱含んでいること、観光関連は行動制限のない春の行楽シーズンとなり旅行需要の高まりがみられ、下げ止まりの動きがみられることから、総じて県内景気は下げ止まりの動きがみられる（2カ月連続）。

消費関連

百貨店売上高は、2カ月連続で前年を上回った。入学内祝ギフト需要や、式典用のハレ着需要の高まりがみられたことなどから前年を上回った。スーパー売上高は、外出機会の増加や気温上昇に伴い衣料品が増加したことなどから既存店・全店ベースともに2カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、部品供給不足などによる新車供給の停滞は継続しているものの、大型連休に伴うレンタカー需要の高まりがみられ小型乗用車が増加したことなどから、11カ月ぶりに前年を上回った。電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売で白物・電子レンジ、AV商品などが減少したことなどから11カ月連続で前年を下回った。

先行きは、新型コロナウイルスの影響により引き続き不透明感はあるものの、人流回復に伴う消費マインド向上が期待され、徐々に持ち直しに向かうとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、国、県、市町村、独立行政法人等・その他のすべての発注者で減少したことから、6カ月ぶりに前年を下回った。建築着工床面積（3月）は、居住用は増加したものの、非居住用は減少したことから2カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（3月）は、貸家は減少したが、持家、分譲、給与は増加したことから3カ月ぶりに前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事、民間工事ともに増加したことから3カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメントは4カ月連続で前年を下回り、生コンは22カ月ぶりに前年を上回った。鋼材売上高は鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により単価の上昇がみられることなどから前年を上回り、木材売上高は需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから前年を上回った。

先行きは、民間工事に再開の動きがみられるものの、資材価格が上昇していることなどから弱含むとみられる。

観光関連

入域観光客数は、5カ月連続で前年を上回った。国内客が増加し、外国客は引き続き0人となった。県内主要ホテルは、稼働率、売上高は5カ月連続で前年を上回り、宿泊収入は5カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は2カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数、売上高ともに2カ月連続で前年を上回った。前年同月とは異なり、行動制限がなく、またワクチン接種が普及していることなどから、旅行需要の高まりがみられた。

先行きは、2022年6月より水際対策が緩和され、那覇空港においても2年ぶりに訪日外国人観光客の受け入れが段階的に再開されること、また国内においても、観光需要回復の動きが明確にみられることから、持ち直しに向かうとみられる。

雇用関連

新規求人数（3月）は、前年同月比 16.0%増となり 12 カ月連続で前年を上回った。サービス業、卸売・小売業などで増加した。有効求人倍率（3月、季調値）は 0.85 倍で、前月より 0.01 ポイント低下した。完全失業率（3月、季調値）は 3.2%と、前月より 1.2 ポイント低下した。

その他

消費者物価指数は、前年同月比 2.9%の上昇となり、7 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 0.7%の上昇となった。

企業倒産は、2 件で前年同月を 1 件下回った。負債総額は 1 億 7,000 万円で、前年同月比 359.5%増となった。

りゅうぎん調査（2022年4月）

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 (2022.2－2022.4)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	4.6	▲ 0.1
(2) スーパー(既存店)(金額)	0.5	0.3
(3) スーパー(全店)(金額)	0.5	0.7
(4) 新車販売(台数)	9.9	▲ 12.9
(5) 電気製品卸売(金額)	▲ 5.1	▲ 7.0
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	▲ 41.5	23.2
(2) 建築着工床面積(m ²)	(3月) ▲ 22.9	(1-3月) ▲ 18.8
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(3月) 2.9	(1-3月) ▲ 15.5
(4) 建設受注額(金額)	P 751.9	P 178.0
(5) セメント(トン数)	▲ 0.5	▲ 1.1
(6) 生コン(m ³)	24.3	2.5
(7) 鋼材(金額)	P 22.8	P 25.1
(8) 木材(金額)	17.3	15.7
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	55.8	47.5
うち外国客数(人数)	0.0	0.0
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差)P 14.4	(前年同期差)P 10.5
	(実数) P 36.6	(実数) P 30.6
(3) " 売上高(金額)	P 39.5	P 26.7
(4) 観光施設入場者数(人数)	43.1	19.7
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	17.8	5.8
(6) " 売上高(金額)	25.6	10.8
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	(3月) 16.0	(1-3月) 16.7
(2) 有効求人倍率(季調値)	(3月、実数) 0.85	(1-3月、実数) 0.85
(3) 消費者物価指数(総合)	2.9	1.7
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) 1	(前年同期差) ▲ 3
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(3月) P ▲ 8.6	(1-3月) P ▲ 6.3

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 2022年4月より電気製品卸売りの調査先を4社から3社とした。

(注3) ゴルフ場は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

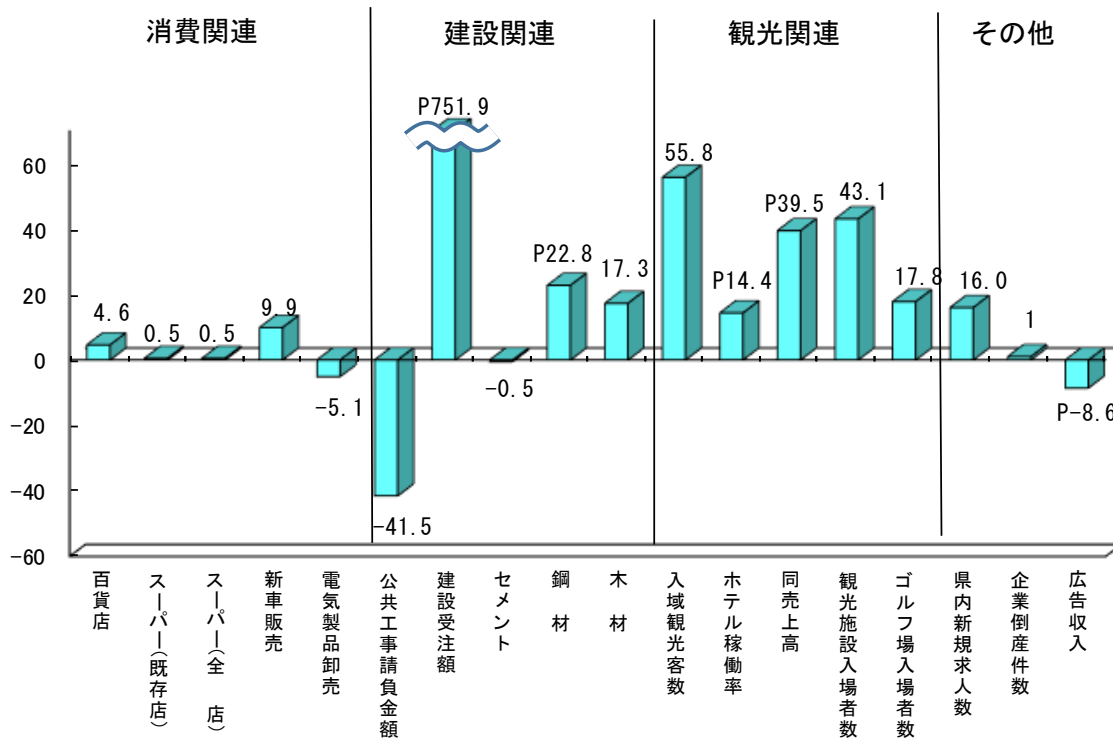
(注4) 主要ホテルは、2021年11月より調査先を28ホテルから27ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

(注6) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

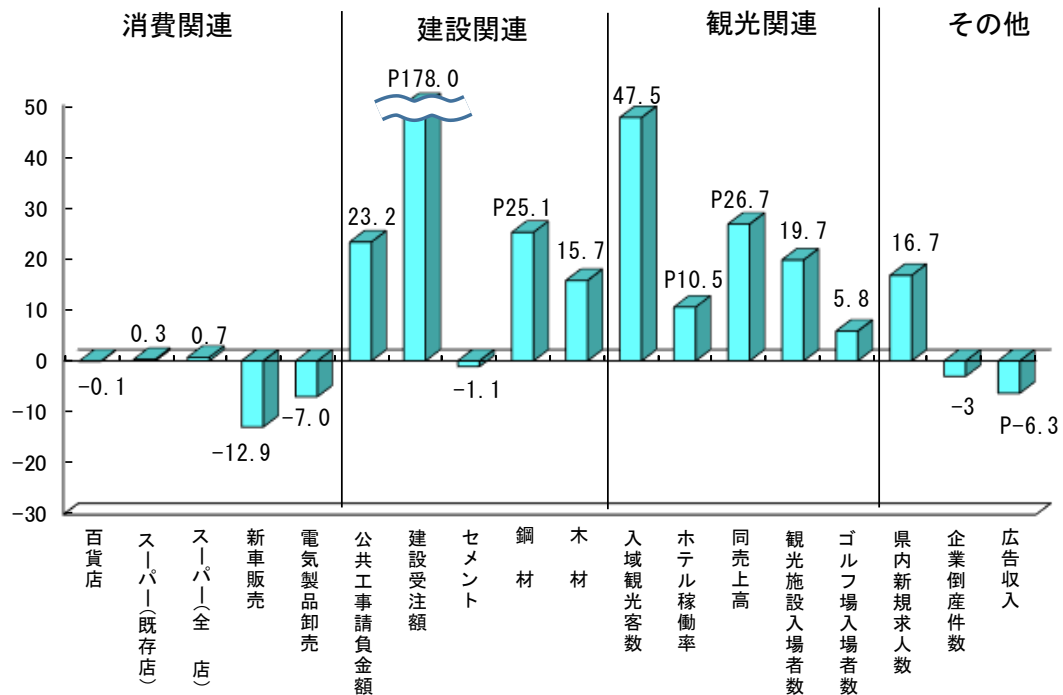
(注7) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2022年4月)



(注) 新規求人数・広告収入は22年3月分。数値は前年比(%)。Pは速報値。
 ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

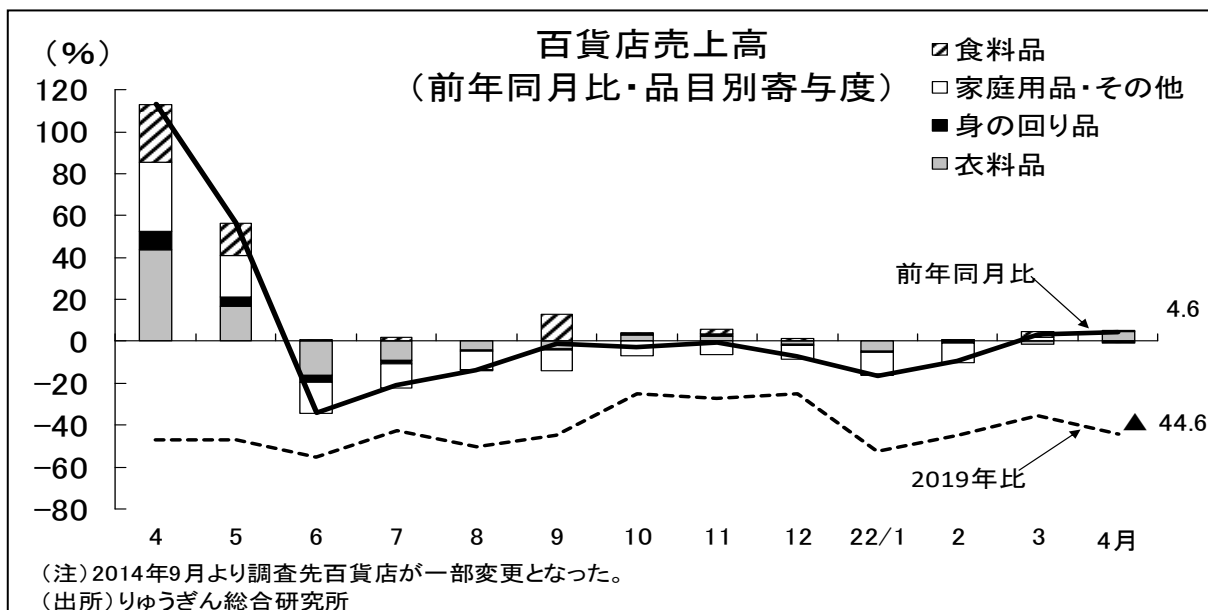
項目別グラフ(3カ月、2022年2月～2022年4月)



(注) 新規求人数・広告収入は22年1月～22年3月分。数値は前年比(%)。
 ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

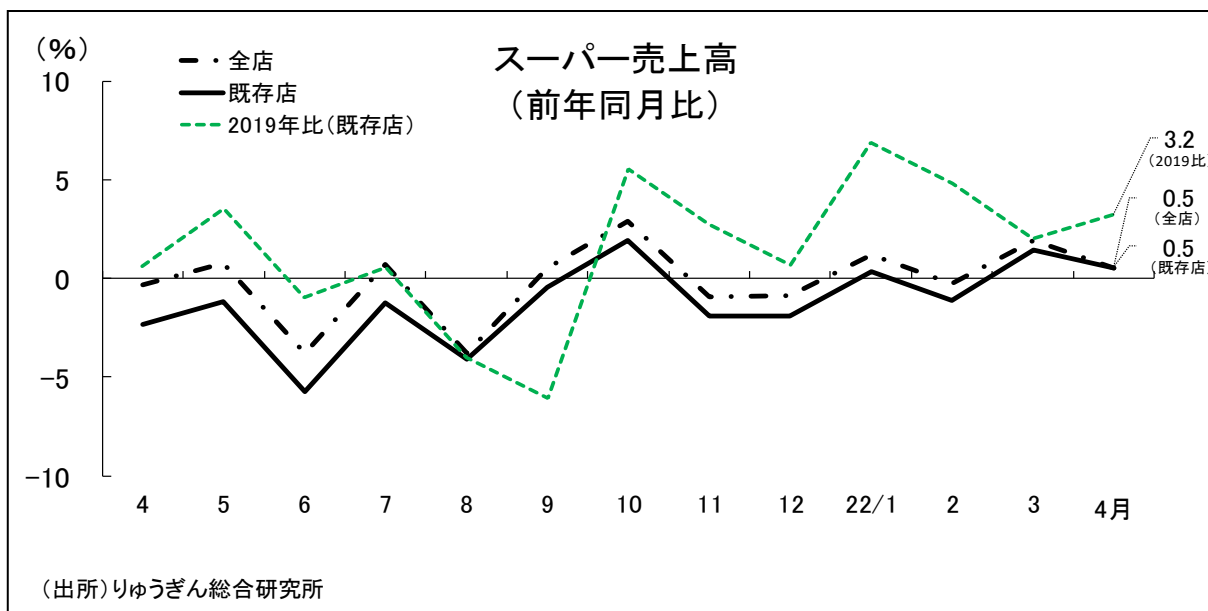
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：2カ月連続で増加



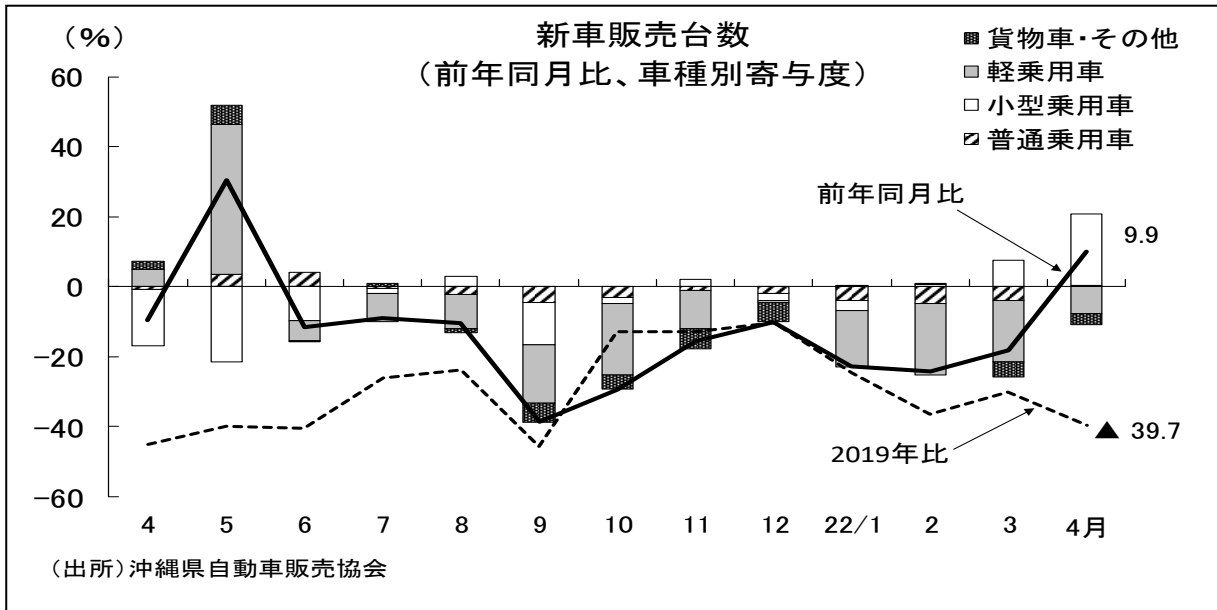
- 百貨店売上高は、前年同月比 4.6% 増と 2 カ月連続で前年を上回った。入学内祝ギフト需要や、式典用のハレ着需要の高まりがみられたことなどから前年を上回った。
- 品目別にみると、衣料品が同 14.4% 増、身の回り品が同 12.5% 増、食料品が同 1.6% 減、家庭用品・その他が同 0.9% 減となった。
- 新型コロナ以前の 2019 年と比較した伸び率は、44.6% の減少となった。

(2) スーパー売上高：全店ベースは2カ月連続で増加



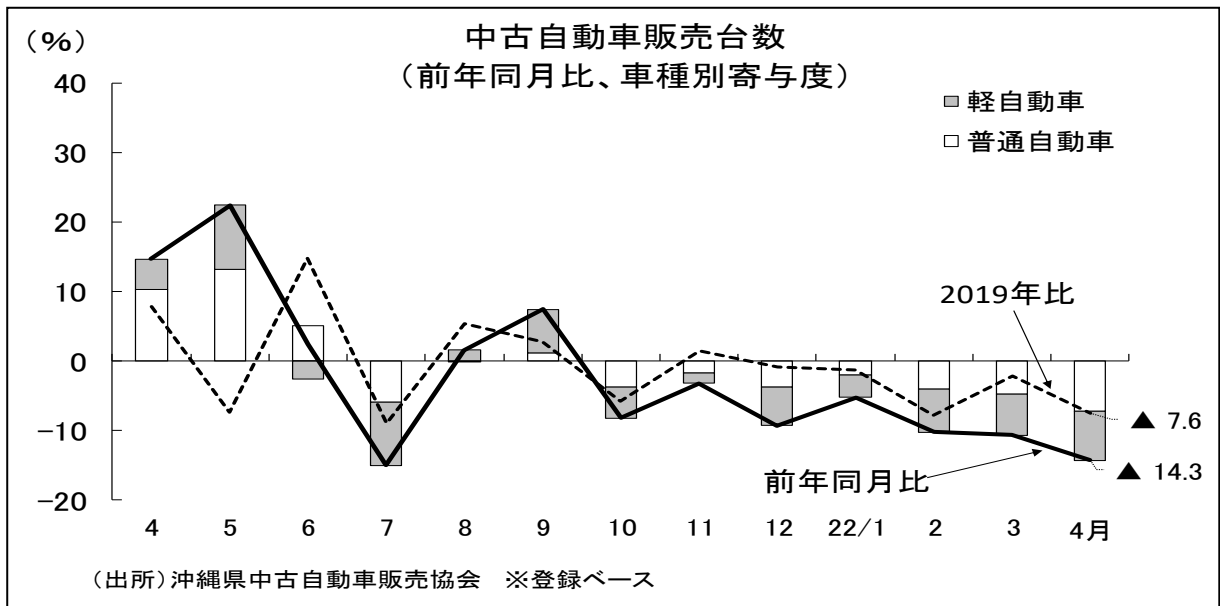
- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比 0.5% 増と 2 カ月連続で前年を上回った。
- 衣料品は、外出機会の増加や気温上昇に伴い季節商材が伸長したことなどから同 6.8% 増、食料品は同 0.2% 増、住居関連は同 0.3% 増となった。
- 全店ベースでは同 0.5% 増と 2 カ月連続で前年を上回った。
- 新型コロナ以前の 2019 年と比較すると、既存店ベースでは 3.2% の増加となった。

(3) 新車販売台数：11カ月ぶりに増加



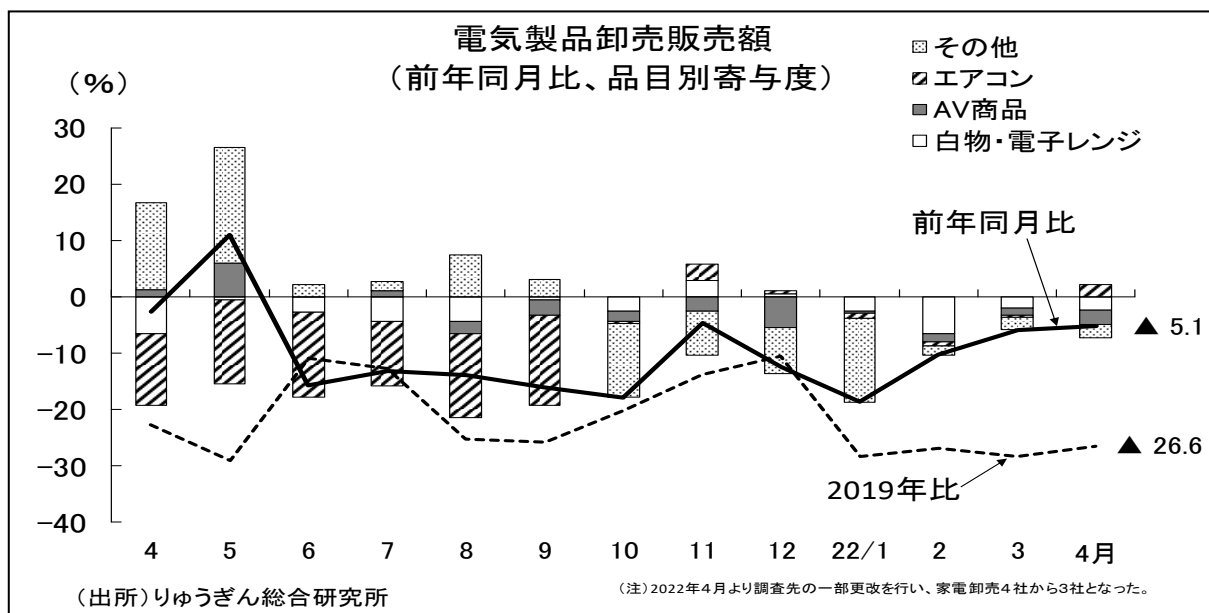
- ・ 新車販売台数は3,452台で前年同月比9.9%増と11カ月ぶりに前年を上回った。部品供給不足などにより新車供給の停滞は継続しているものの、レンタカー需要が大幅に落ち込んだ前年の反動や、大型連休に伴うレンタカー需要の高まりがみられたことなどから前年を上回った。
- ・ 普通自動車（登録車）は1,841台（同53.8%増）で、うち普通乗用車は464台（同3.3%増）、小型乗用車は1,225台（同108.0%増）であった。軽自動車（届出車）は1,611台（同17.1%減）で、うち軽乗用車は1,231台（同16.3%減）であった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、39.7%の減少となった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：7カ月連続で減少



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は1万8,538台で前年同月比14.3%減と7カ月連続で前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車は6,814台（同18.8%減）、軽自動車は1万1,724台（同11.5%減）となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、7.6%の減少となった。

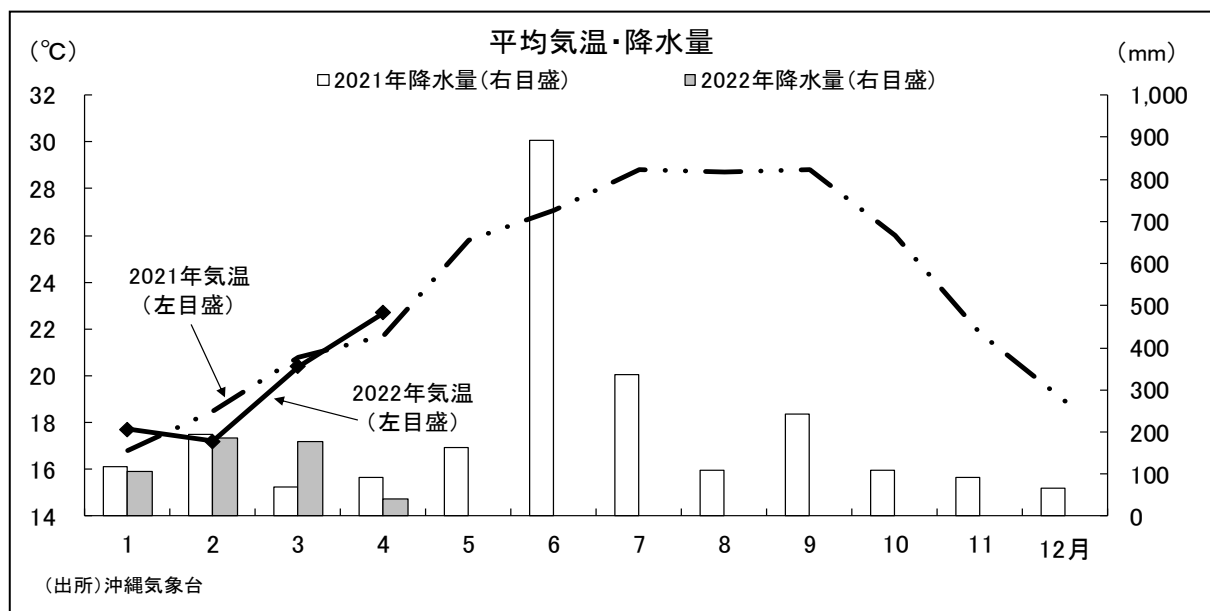
(5) 電気製品卸売販売額：11カ月連続で減少



- ・ 電気製品卸売販売額は、家電量販店向け販売で白物・電子レンジ、AV商品などが減少したことなどから、前年同月比5.1%減と11カ月連続で前年を下回った。
- ・ 品目別にみると、白物では洗濯機が同1.9%減、冷蔵庫が同15.3%減、AV商品は同45.7%減、エアコンは同36.6%増、その他は同3.6%減となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、26.6%の減少となった。

(参考)

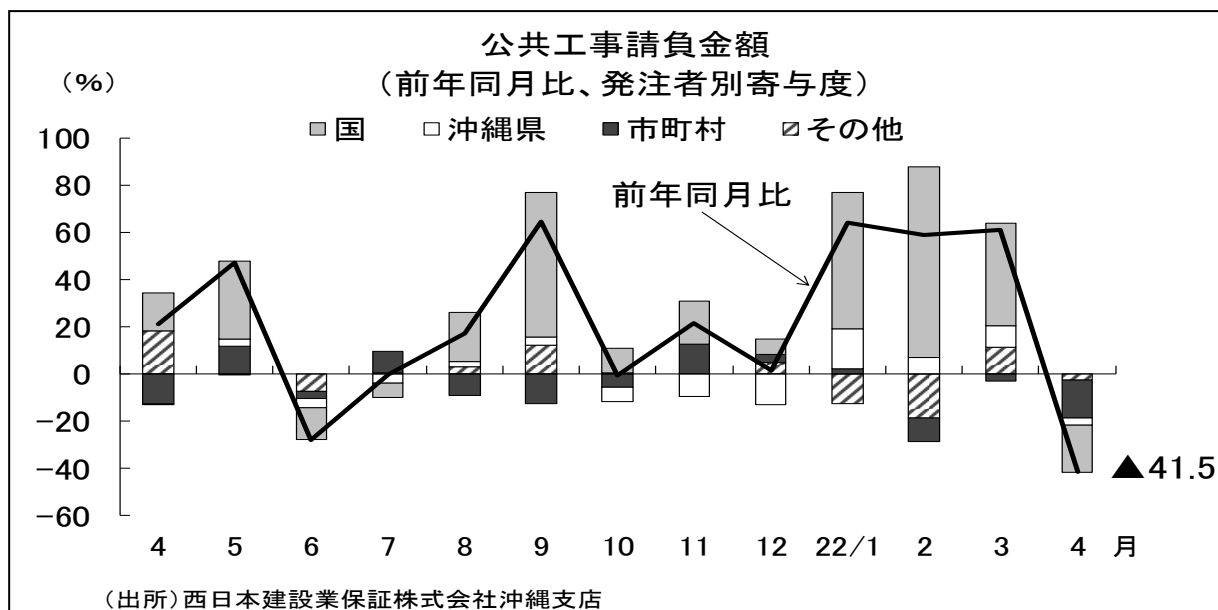
◇ 気象:平均気温・降水量(那覇)



- ・ 平均気温は22.7℃となり、前年同月(21.7℃)より高く、降水量は41.5mmで前年同月(92.0mm)より少なかった。
- ・ 前線や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気などの影響で曇りや雨の日もあったが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年よりかなり少なく、日照時間は平年より多かった。

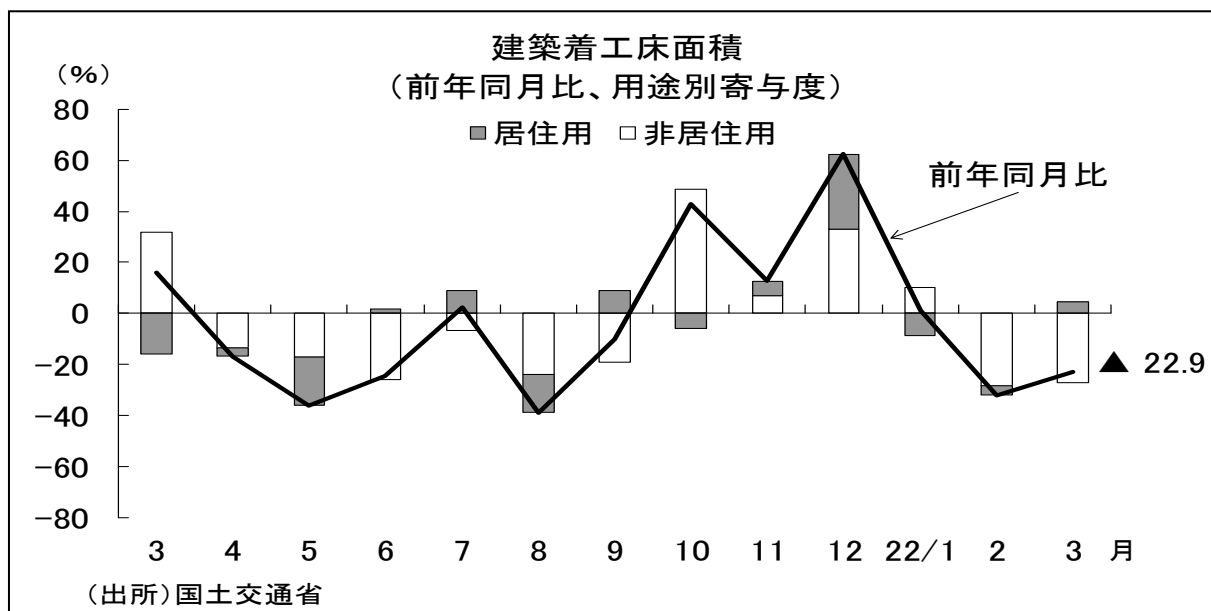
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：6カ月ぶりに減少



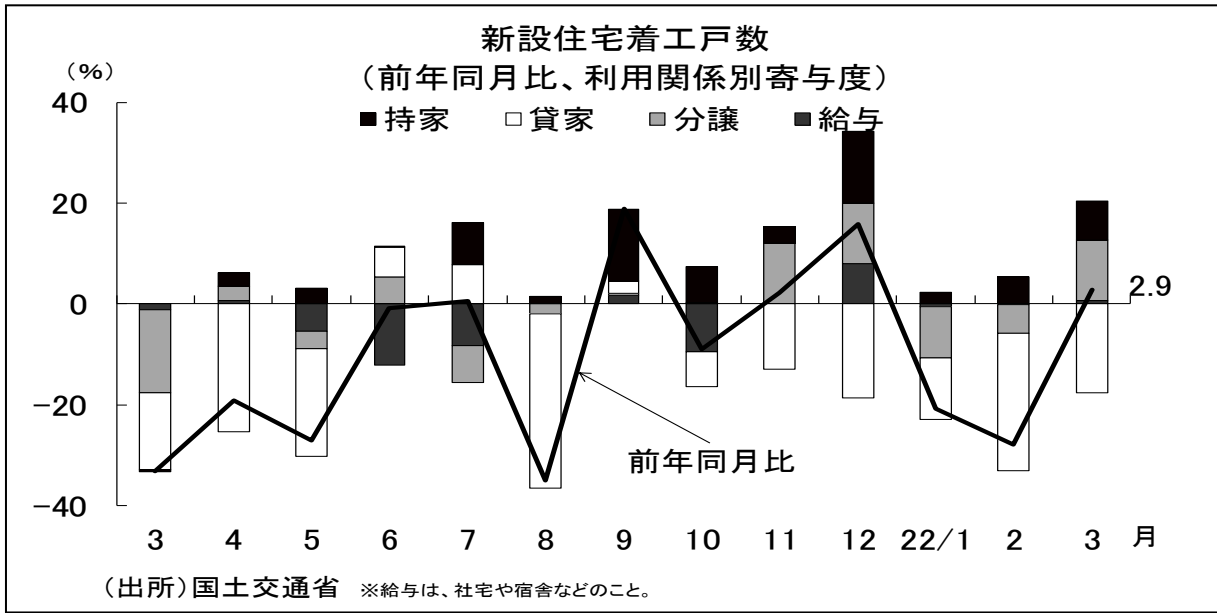
- 公共工事請負金額は、165億9,346万円で、国、県、市町村、独立行政法人等・その他のすべての発注者で減少したことから、前年同月比41.5%減となり、6カ月ぶりに前年を下回った。
- 発注者別では、国（同77.8%減）、県（同14.1%減）、市町村（同56.5%減）、独立行政法人等・その他（同10.0%減）と減少した。

(2) 建築着工床面積：2カ月連続で減少



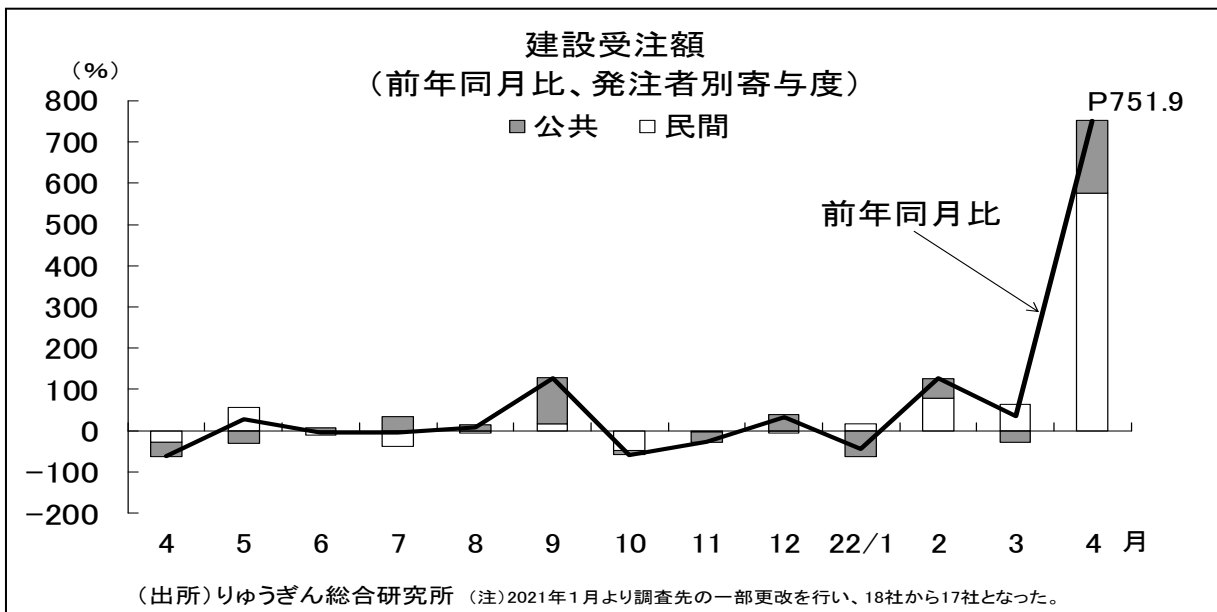
- 建築着工床面積（3月）は15万6,316㎡となり、居住用は増加したものの、非居住用は減少したことから前年同月比22.9%減と2カ月連続で前年を下回った。用途別では、居住用は同14.2%増となり、非居住用は同39.2%減となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では、居住専用は増加し、居住産業併用は減少した。非居住用では、公務用などが増加し、医療、福祉用や電気・ガス・熱供給・水道業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：3カ月ぶりに増加



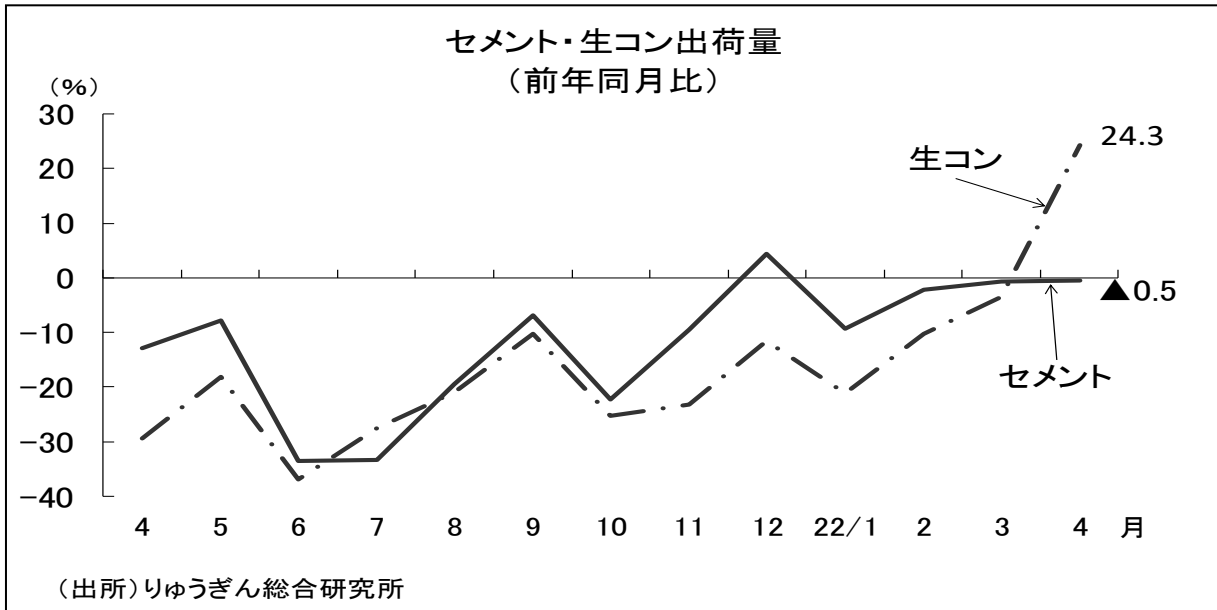
- ・ 新設住宅着工戸数（3月）は752戸となり、貸家は減少したが、持家、分譲、給与は増加したことから前年同月比2.9%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、持家（265戸）が同27.4%増、分譲（230戸）が同62.0%増、給与（6戸）が同500.0%増と増加し、貸家（251戸）が同33.9%減と減少した。

(4) 建設受注額：3カ月連続で増加



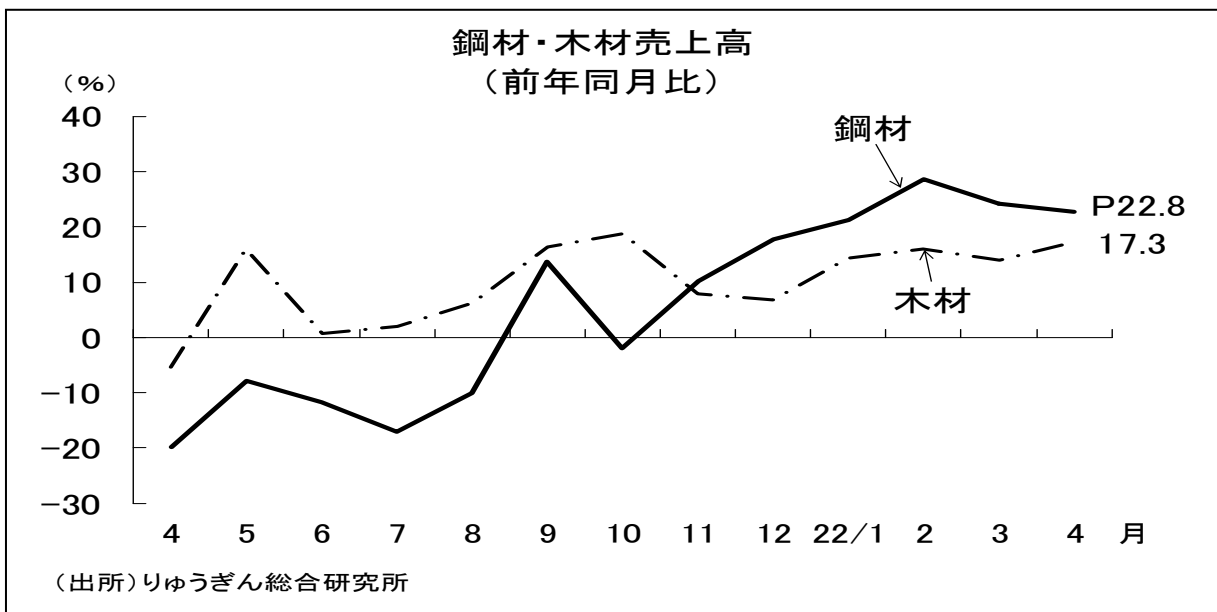
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社、速報値）は、公共工事、民間工事ともに増加したことから、前年同月比751.9%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事（同362.7%増）は2カ月ぶりに増加し、民間工事（同1,121.2%増）は4カ月連続で増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは4カ月連続で減少、生コンは22カ月ぶりに増加



- ・ セメント出荷量は6万5,425トンとなり、前年同月比0.5%減と4カ月連続で前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は11万9,719 m³で同24.3%増となり、22カ月ぶりに前年を上回った。
- ・ 生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、一般土木向けや公共施設向けなどが増加し、県企業局向けなどが減少した。民間工事では、社屋関連向けや戸建住宅向けなどが増加し、宿泊施設向けなどが減少した。

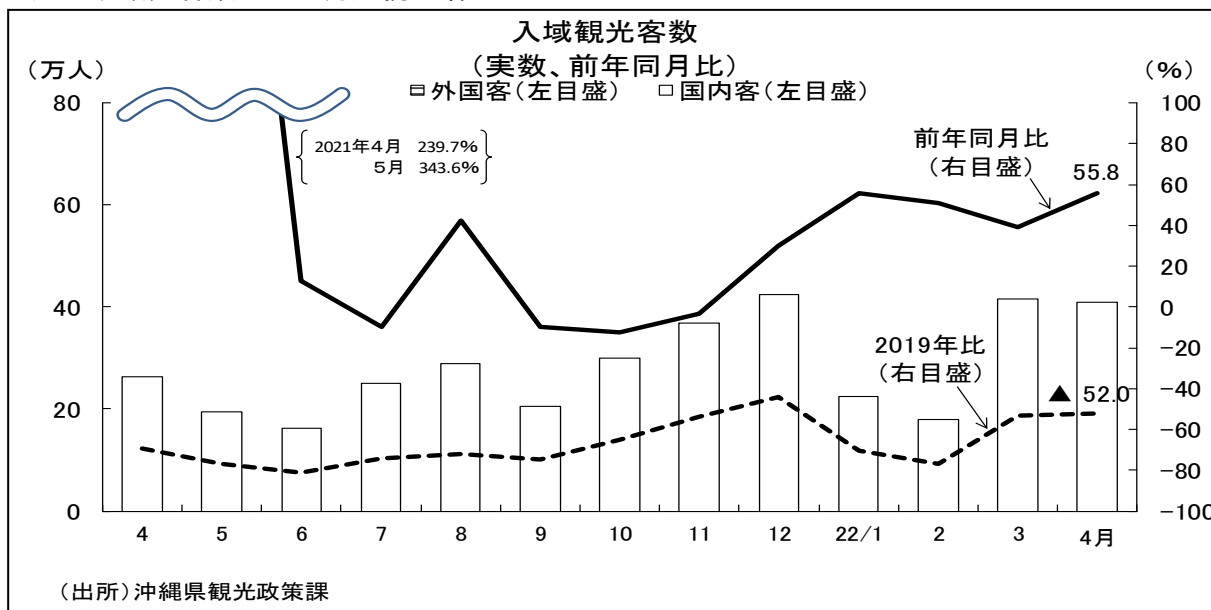
(6) 鋼材・木材：鋼材は6カ月連続で増加、木材は12カ月連続で増加



- ・ 鋼材売上高（速報値）は、鉄スクラップなど原材料の需給ひっ迫により単価の上昇がみられることなどから前年同月比22.8%増と6カ月連続で前年を上回った。
- ・ 木材売上高は、需給ひっ迫により木材価格が上昇したことなどから同17.3%増と12カ月連続で前年を上回った。

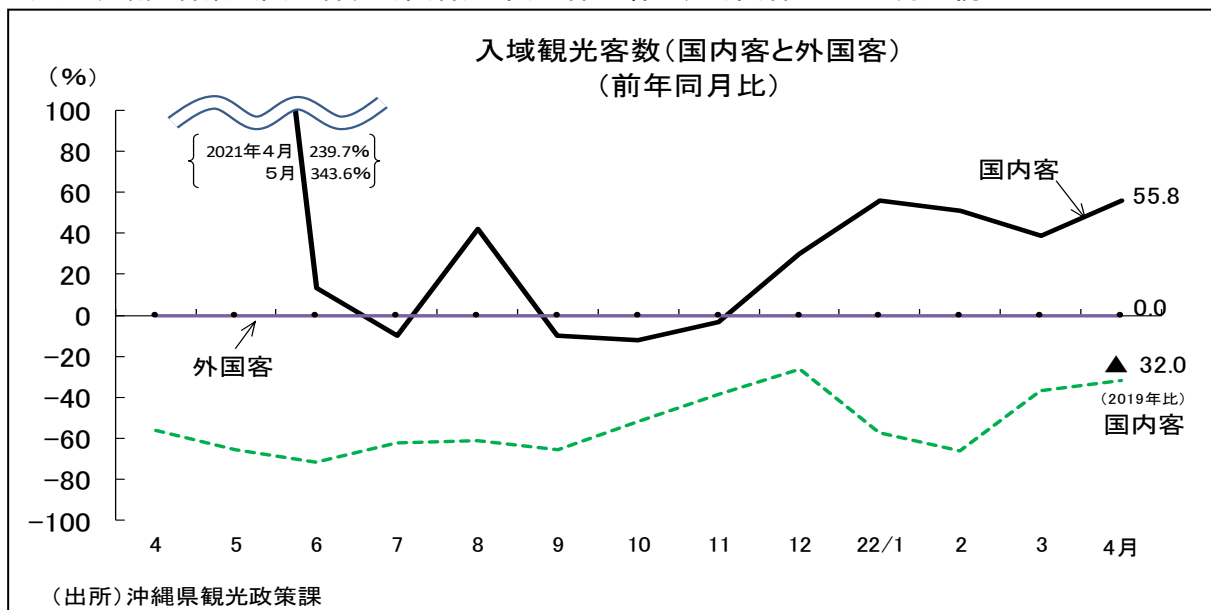
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：5カ月連続で増加



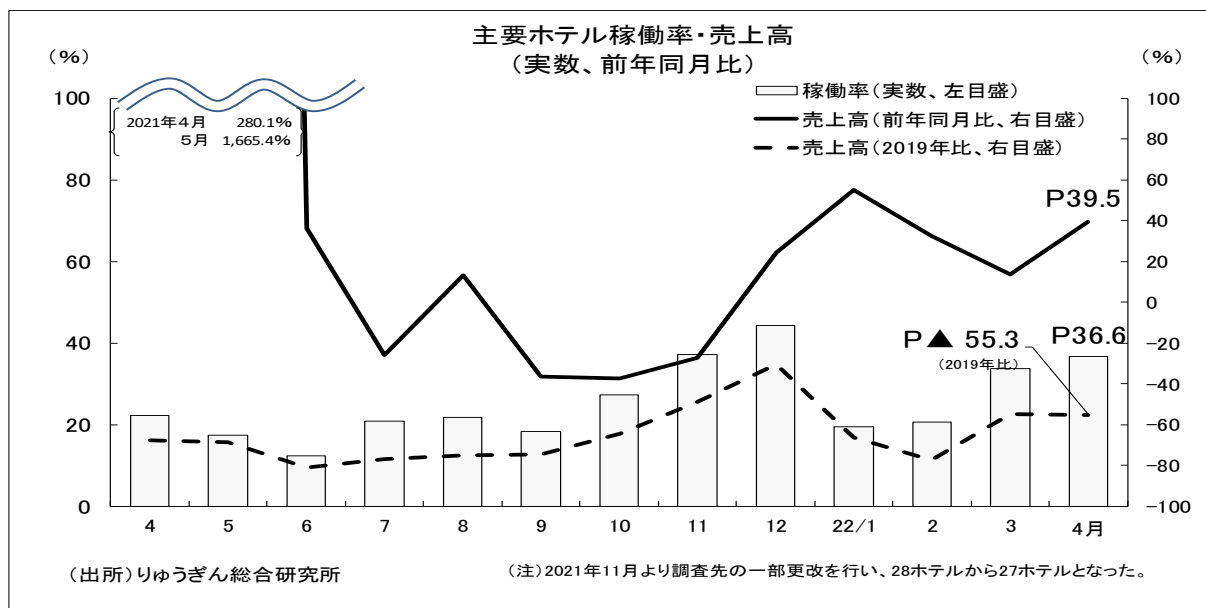
- ・ 入域観光客数は、40万9,000人（前年同月比55.8%増）となり、5カ月連続で前年を上回った。
- ・ 路線別では、空路は40万7,800人（同55.7%増）となり5カ月連続で前年を上回った。海路は1,200人（同71.4%増）となり3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 前年同月とは異なり行動制限がなく旅行需要が徐々に回復するなか、減便規模の縮小やワクチン接種の普及も後押しとなり前年比は上昇した。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は52.0%の減少となった。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は増加、外国客は25カ月連続で0人



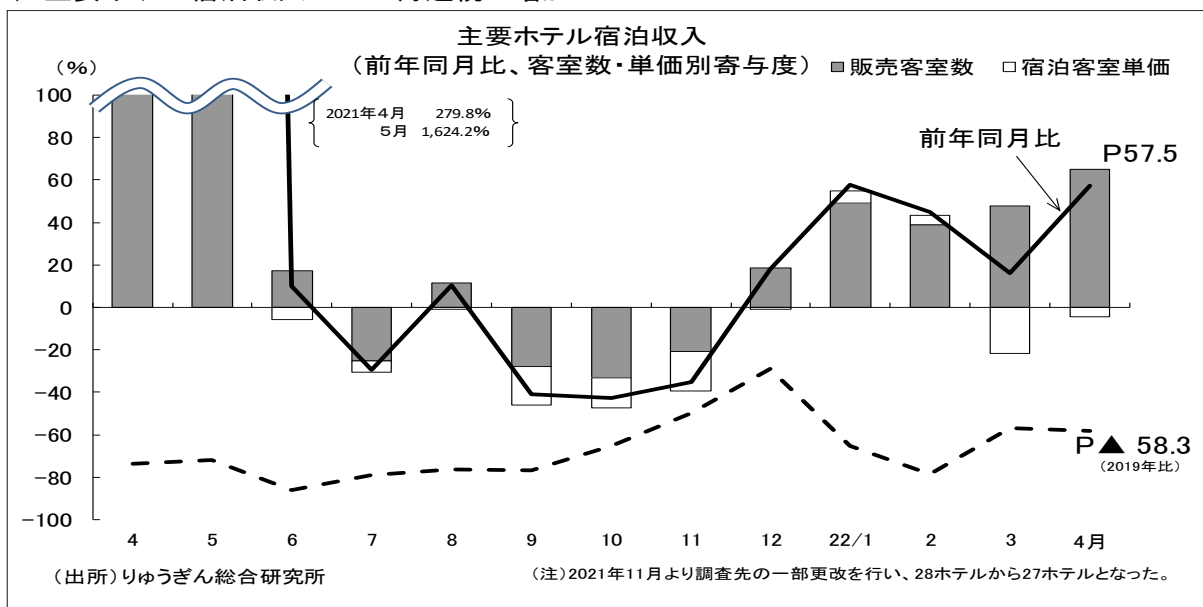
- ・ 国内客は、40万9,000人（前年同月比55.8%増）となり、5カ月連続で前年を上回った。
- ・ 外国客は、2020年4月以降25カ月連続で0人となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較した伸び率は、国内客は32.0%の減少、外国客は全減となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率、売上高ともに5カ月連続で増加



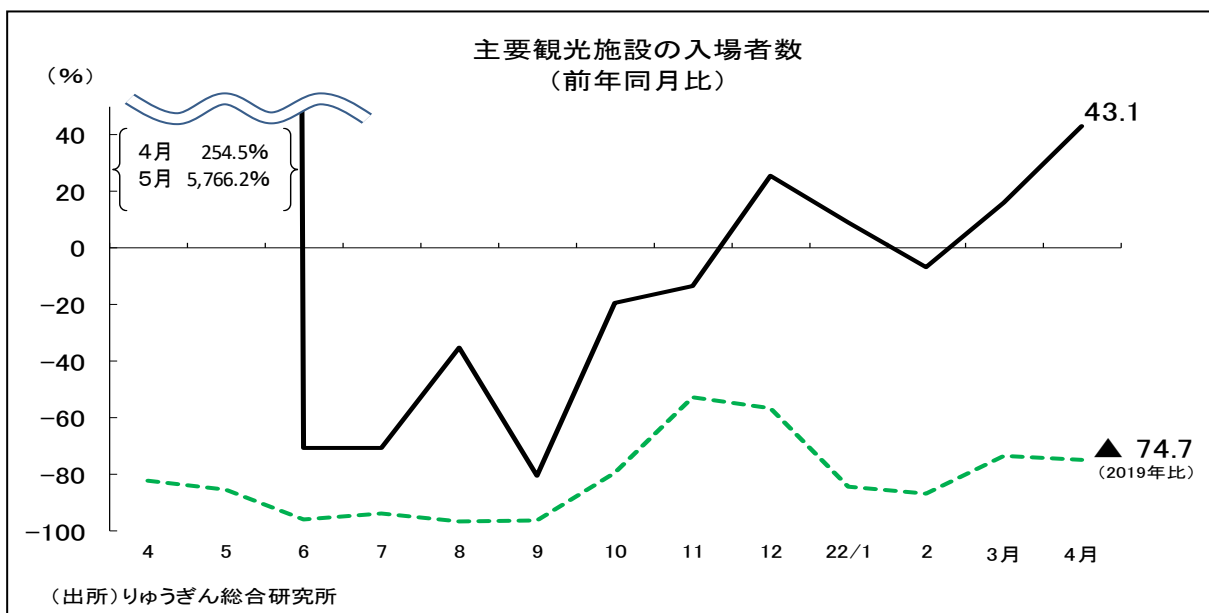
- 主要ホテル(速報値)は、客室稼働率は36.6%と前年同月差14.4%ポイント上昇、売上高は前年同月比39.5%増となり、稼働率、売上高ともに5カ月連続で前年を上回った。那覇市内ホテルの客室稼働率は42.0%と同19.8%ポイント上昇、売上高は同42.7%増となった。リゾート型ホテル(速報値)の客室稼働率は30.4%と同12.3%ポイント上昇、売上高は同39.0%増となり、那覇市内、リゾートともに稼働率、売上高ともに5カ月連続で前年を上回った。新型コロナ以前の2019年と比較した売上高は、全体は55.3%の減少、那覇市内ホテルは63.5%減少、リゾート型ホテルは53.5%減少となった。

(4) 主要ホテル宿泊収入：5カ月連続で増加



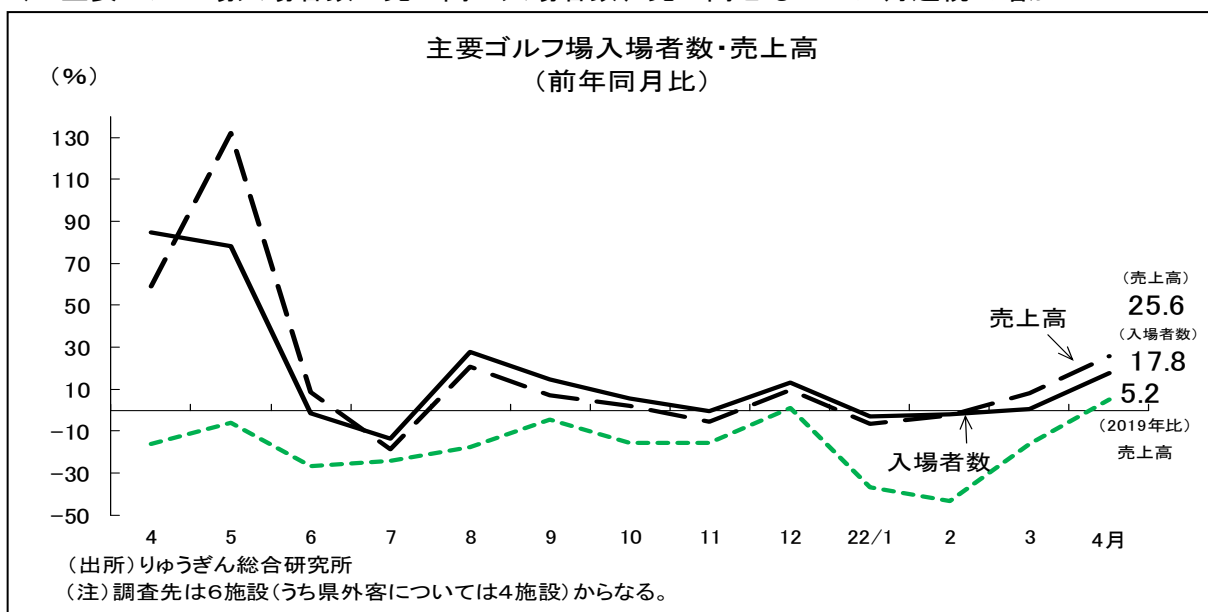
- 主要ホテル売上高(速報値)のうち宿泊収入は、販売客室数(数量要因)増加、宿泊客室単価(価格要因)は低下し、前年同月比57.5%増と5カ月連続で前年を上回った。那覇市内ホテルは販売客室数が増加、宿泊客室単価は低下し、同50.4%増と5カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテル(速報値)は販売客室数が増加、宿泊客室単価が上昇し、同58.7%増と5カ月連続で前年を上回った。新型コロナ以前の2019年と比較した宿泊収入は、全体は58.3%の減少、那覇市内ホテルは66.7%減少、リゾート型ホテルは56.5%減少となった。

(5) 主要観光施設の入場者数：2カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数は、前年同月比 43.1%増と 2 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 前年同月是一部地域でまん延防止等重点措置が適用されていたことや、春休みやゴールデンウィークなどで旅行者が増加し観光施設利用も増加した。
- ・ 新型コロナ以前の 2019 年と比較した入場者数は、74.7%の減少となった。

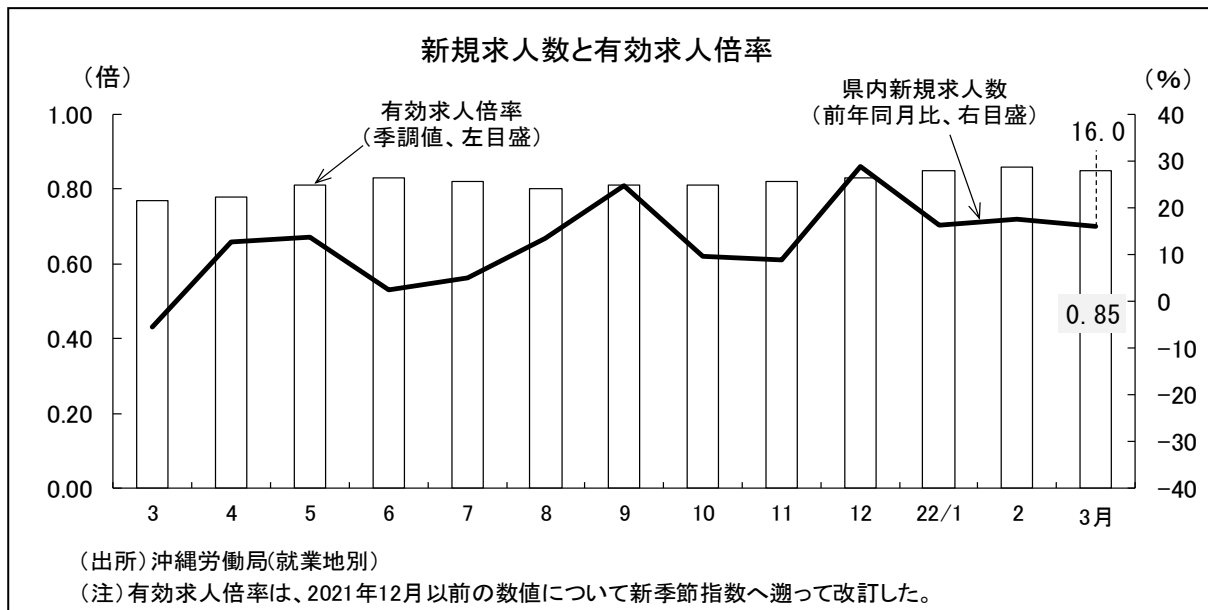
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数、売上高ともに2カ月連続で増加



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 17.8%増と 2 カ月連続で前年を上回った。県内容は 2 カ月連続で前年を上回り、県外客は 6 カ月連続で前年を上回った。売上高は同 17.8%増と 2 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 県内コロナ感染者が高止まりの状況ではあるものの、自粛モードは緩和されており、県外客の増加に伴い客単価も上昇し、売上増加に繋がった。
- ・ 新型コロナ以前の 2019 年と比較すると、入場者数は 15.1%増加(県内客、県外客ともに増加)、売上高は 5.2%の増加となった。

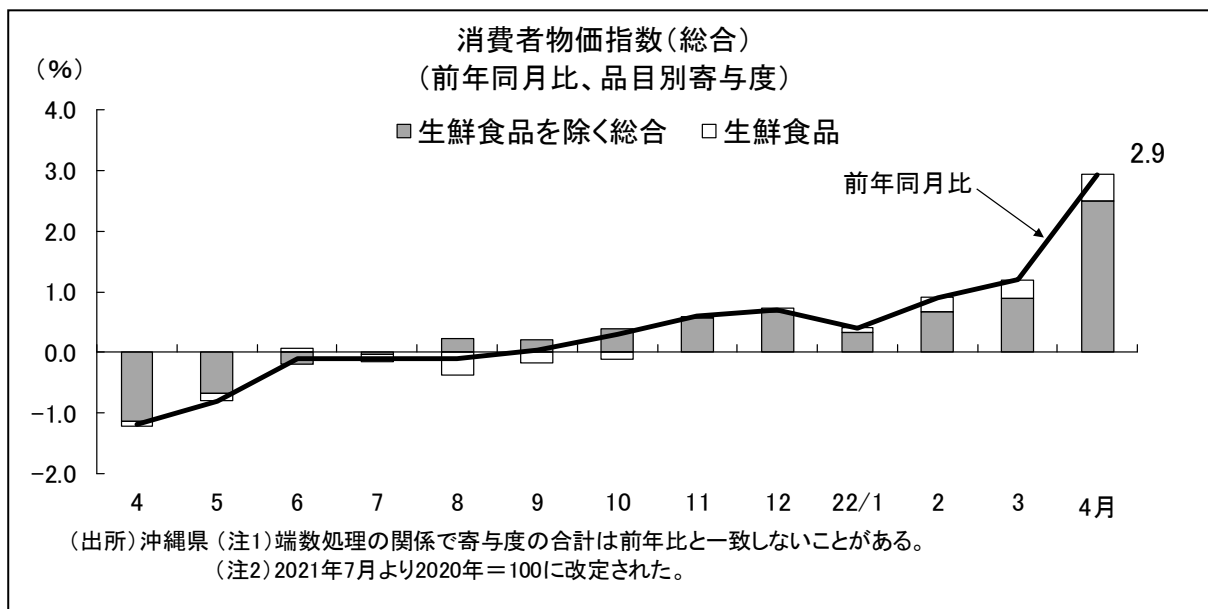
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は増加、有効求人倍率（季調値）は低下



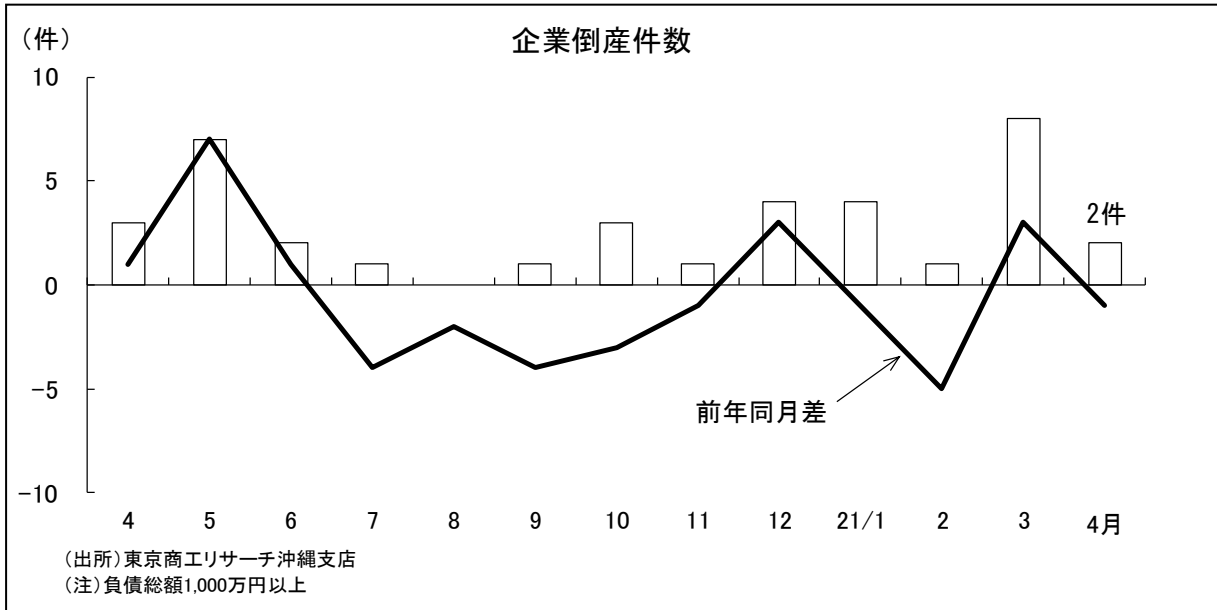
- 新規求人数（3月）は、前年同月比 16.0%増となり 12 カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、サービス業、卸売・小売業などで増加した。有効求人倍率（3月、季調値）は 0.85 倍で、前月より 0.01 ポイント低下した。
- 労働力人口（3月）は、77 万 4,000 人で同 3.1%増となり、就業者数は、74 万 8,000 人で同 4.2%増となった。完全失業者数は 2 万 6,000 人で同 21.2%減となり、完全失業率（3月、季調値）は 3.2%と、前月より 1.2 ポイント低下した。

(2) 消費者物価指数：7 カ月連続で上昇



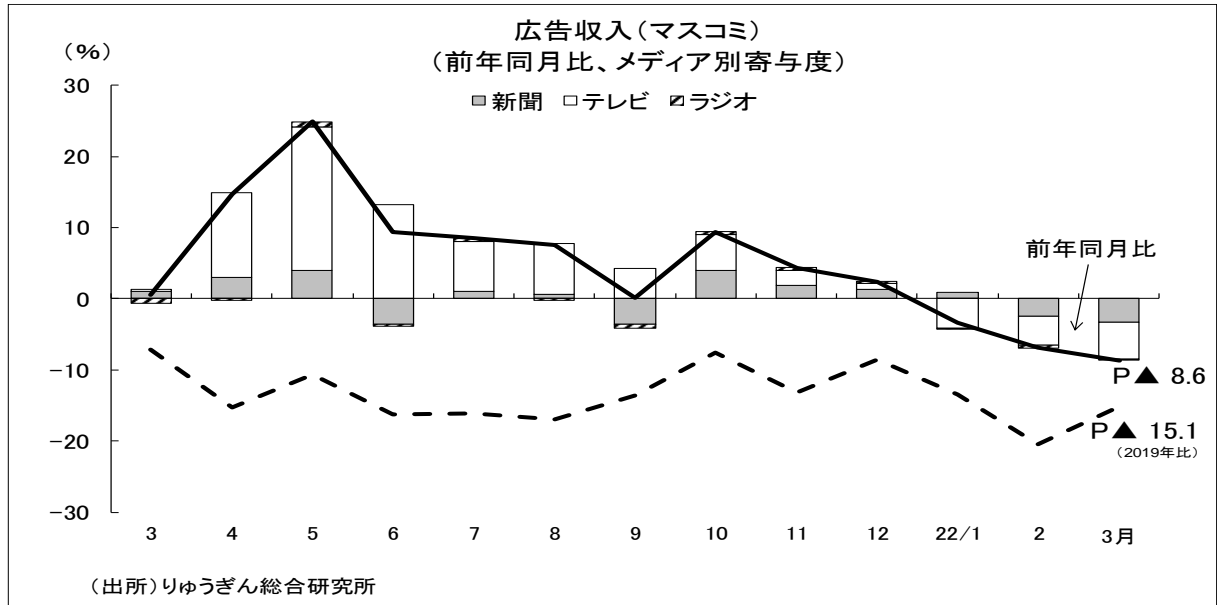
- 消費者物価指数は、前年同月比 2.9%の上昇となり、7 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 2.6%の上昇となった。生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 0.7%の上昇となった。
- 品目別の動きをみると、光熱・水道、食料などは上昇し、保険・医療などは下落した。

(3) 企業倒産：件数は減少、負債総額は増加



- ・ 倒産件数は、2件で前年同月を1件下回った。業種別では、製造業1件(同数)、卸売業1件(同数)となった。
- ・ 負債総額は1億7,000万円で、前年同月比359.5%増となった。

(4) 広告収入(マスコミ)：3カ月連続で減少



- ・ 広告収入(マスコミ：3月、速報値)は、前年同月比8.6%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・ まん延防止等重点措置は解除されたものの、イベント等の企画には慎重な様子もあり前年比減少となった。
- ・ 新型コロナ以前の2019年と比較すると、15.1%の減少となった。

沖縄県内の主要経済指標……………17

〃 金融統計……………19

沖縄県内の主要経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2019	▲ 4.8	▲ 0.1	1.4	11.3	▲ 0.7	3.6	326,534	▲ 5.8	1,849	▲ 19.4
2020	▲ 35.1	0.4	2.5	▲ 2.8	▲ 17.1	0.5	308,119	▲ 5.6	1,555	▲ 15.9
2021	▲ 7.9	▲ 1.7	▲ 0.2	▲ 8.8	▲ 11.0	1.7	344,381	11.8	1,571	1.0
2021 3	▲ 3.5	▲ 2.3	▲ 0.4	▲ 2.9	1.0	5.4	34,094	▲ 4.5	203	15.9
4	113.0	▲ 2.3	▲ 0.3	▲ 23.1	▲ 9.5	14.6	28,352	21.3	146	▲ 16.8
5	56.4	▲ 1.2	0.8	7.7	30.4	22.4	28,056	47.3	87	▲ 36.1
6	▲ 34.3	▲ 5.7	▲ 3.8	▲ 18.8	▲ 11.7	2.3	21,608	▲ 27.9	122	▲ 24.5
7	▲ 20.8	▲ 1.2	0.7	▲ 14.6	▲ 9.1	▲ 15.0	44,439	▲ 0.3	129	2.2
8	▲ 13.7	▲ 4.1	▲ 3.8	▲ 16.8	▲ 10.5	1.5	35,562	17.2	90	▲ 38.9
9	▲ 1.2	▲ 0.4	0.5	▲ 17.5	▲ 38.7	7.4	53,814	64.3	89	▲ 10.1
10	▲ 3.0	1.9	2.9	▲ 17.9	▲ 29.3	▲ 8.2	26,721	▲ 0.6	200	42.8
11	▲ 0.5	▲ 1.9	▲ 0.9	▲ 5.7	▲ 15.6	▲ 3.3	21,981	21.6	127	12.7
12	▲ 7.2	▲ 1.9	▲ 0.9	▲ 13.2	▲ 10.1	▲ 9.3	17,959	1.6	136	62.5
2022 1	▲ 16.3	0.3	1.2	▲ 19.1	▲ 22.7	▲ 5.3	26,815	64.1	123	1.3
2	▲ 9.3	▲ 1.1	▲ 0.3	▲ 11.0	▲ 24.4	▲ 10.3	24,548	58.9	82	▲ 32.0
3	3.3	1.5	1.9	▲ 7.6	▲ 18.2	▲ 10.7	54,839	60.8	156	▲ 22.9
4	4.6	0.5	0.5	▲ 5.1	9.9	▲ 14.3	16,593	▲ 41.5	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 2022年4月より電気製品卸売りの調査先を4社から3社とした。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2019	15,098	▲ 10.1	▲ 11.9	0.3	1.4	4.0	7.2	▲ 3.4	▲ 0.9	▲ 2.2
2020	10,703	▲ 29.1	3.1	▲ 10.0	▲ 10.4	▲ 11.6	▲ 11.6	▲ 72.1	▲ 7.6	▲ 15.7
2021	9,668	▲ 9.7	▲ 10.6	▲ 15.4	▲ 21.1	▲ 5.7	3.1	▲ 42.1	8.6	3.9
2021 3	731	▲ 33.2	▲ 54.9	▲ 3.0	▲ 11.4	▲ 4.5	▲ 8.4	▲ 13.1	11.0	0.6
4	913	▲ 19.1	▲ 61.9	▲ 12.9	▲ 29.5	▲ 19.9	▲ 5.4	254.5	84.9	14.7
5	744	▲ 27.0	27.0	▲ 7.8	▲ 18.2	▲ 7.8	16.0	5,766.2	78.4	24.9
6	761	▲ 0.8	▲ 5.6	▲ 33.6	▲ 36.8	▲ 11.7	0.8	▲ 70.7	▲ 1.6	9.4
7	901	0.6	▲ 3.6	▲ 33.2	▲ 27.6	▲ 17.1	2.0	▲ 70.6	▲ 13.6	8.5
8	646	▲ 34.9	8.9	▲ 19.5	▲ 21.0	▲ 10.0	6.2	▲ 35.3	27.8	7.5
9	713	18.8	127.4	▲ 7.0	▲ 10.2	13.8	16.4	▲ 80.4	14.6	0.2
10	897	▲ 8.9	▲ 58.6	▲ 22.3	▲ 25.3	▲ 1.9	18.7	▲ 19.3	5.8	9.3
11	882	2.3	▲ 26.9	▲ 9.4	▲ 23.2	10.3	7.8	▲ 13.4	▲ 0.2	4.3
12	931	15.8	32.4	4.4	▲ 11.5	17.9	6.8	25.5	13.1	2.4
2022 1	633	▲ 20.7	▲ 44.9	▲ 9.3	▲ 21.1	21.3	14.3	9.0	▲ 3.0	▲ 3.3
2	542	▲ 27.8	P126.5	▲ 2.1	▲ 10.3	28.6	16.0	▲ 6.9	▲ 1.9	▲ 6.9
3	752	2.9	P35.1	▲ 0.7	▲ 3.5	24.1	13.9	16.1	0.2	P▲ 8.6
4	-	-	P751.9	▲ 0.5	24.3	P22.8	17.3	43.1	17.8	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2021年1月より調査先を18社から17社とした。

注) ゴルフ場入場者数は、2021年4月より調査先を8ゴルフ場から6ゴルフ場とした。

沖縄県内の主要経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2015年=100	前年比
2019	10,163.9	3.2	2,930.0	0.9	80.9	69.7	▲ 1.3	▲ 3.4	87.1	▲ 3.2
2020	3,736.6	▲ 63.2	256.9	▲ 91.2	31.7	31.6	▲ 65.2	▲ 58.8	76.0	12.9
2021	3,016.7	▲ 19.3	0.0	▲ 100.0	24.3	22.2	▲ 30.4	▲ 20.0	-	-
2021 3	299.2	▲ 24.5	0.0	▲ 100.0	24.4	22.1	▲ 33.7	▲ 9.2	94.4	▲ 14.8
4	262.6	239.7	0.0	0.0	21.4	22.3	118.6	338.8	81.1	▲ 10.8
5	195.2	343.6	0.0	0.0	16.8	17.4	526.4	2,358.3	72.2	10.2
6	162.9	13.0	0.0	0.0	15.0	11.3	3.9	78.4	68.2	▲ 7.9
7	250.4	▲ 9.7	0.0	0.0	22.2	20.4	▲ 30.4	▲ 25.5	68.5	▲ 9.8
8	288.2	42.1	0.0	0.0	21.1	21.9	▲ 25.4	17.2	65.7	▲ 10.5
9	204.9	▲ 10.0	0.0	0.0	17.5	18.8	▲ 32.0	▲ 37.5	69.2	▲ 0.8
10	299.0	▲ 12.4	0.0	0.0	27.4	27.9	▲ 21.9	▲ 38.7	77.0	6.0
11	368.0	▲ 3.4	0.0	0.0	41.7	35.6	▲ 4.9	▲ 30.4	74.7	0.1
12	423.5	29.8	0.0	0.0	50.5	42.0	45.6	20.5	84.6	12.0
2022 1	224.6	56.0	0.0	0.0	22.2	18.3	34.0	59.9	76.2	▲ 0.8
2	179.1	50.8	0.0	0.0	26.9	18.3	5.3	44.0	73.7	▲ 2.9
3	415.7	38.9	0.0	0.0	43.1	30.4	16.1	13.2	-	-
4	409.0	55.8	0.0	0.0	42.0	P34.6	42.7	P39	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2021年11月より調査先が28ホテルから27ホテルとした。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	通関輸出	通関輸入
		百万円	前年比							
2019	50	5,714	▲ 54.0	0.4	2.7	2.7	1.34	3.3	31,126	148,698
2020	34	3,640	▲ 36.3	▲ 0.3	3.3	0.1	0.90	▲ 27.2	30,063	120,799
2021	38	10,989	201.9	0.0	3.7	0.4	0.80	0.7	44,890	126,238
2021 3	5	5,753	541.4	0.3	4.4	▲ 1.2	0.76	▲ 5.5	4,472	7,239
4	3	37	23.3	▲ 0.4	3.9	2.9	0.78	12.7	16,931	7,333
5	7	1,359	100.0	▲ 0.2	3.4	0.8	0.83	13.6	1,879	9,946
6	2	337	▲ 31.2	0.5	3.7	0.0	0.88	2.5	1,823	7,891
7	1	154	▲ 82.1	▲ 0.1	4.5	▲ 0.7	0.84	4.9	1,327	11,308
8	0	0	▲ 100.0	▲ 0.1	3.6	0.4	0.79	13.6	1,720	23,380
9	1	26	▲ 69.0	0.0	3.2	0.6	0.80	24.8	1,966	7,481
10	3	434	20.6	0.3	2.4	1.0	0.80	9.7	4,299	14,005
11	1	320	267.8	0.6	3.4	0.7	0.81	8.9	5,492	11,252
12	4	1,803	1,948.9	0.7	3.8	1.9	0.82	28.8	2,126	12,528
2022 1	4	2,819	803.5	0.4	4.0	4.0	0.85	16.3	1,488	10,830
2	1	10	▲ 97.8	0.9	4.4	0.5	0.86	17.6	26,277	7,384
3	8	935	▲ 83.7	1.2	3.2	4.2	0.85	16.0	5,898	10,632
4	2	170	359.5	2.9	-	-	-	-	2,654	17,174
出所	東京商工リサーチ沖縄支店		県企画部統計課			沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2020年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の金融統計

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡 発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2019FY	2,658	4,076	▲ 1,415	1.465	189	▲ 5.9	3,381	▲ 6.0	5	0.002
2020FY	3,019	2,812	206	1.399	165	▲ 13.1	3,016	▲ 10.8	7	0.002
2021FY	2,825	2,906	▲ 80	1.356	150	▲ 9.0	2,720	▲ 9.8	106	0.039
2021 3	198	269	▲ 70	1.386	16	▲ 8.0	299	▲ 5.3	0	0.000
4	316	180	136	1.385	14	▲ 7.2	251	▲ 13.6	3	0.012
5	130	284	▲ 154	1.374	13	5.2	242	8.7	0	0.000
6	233	239	▲ 6	1.371	14	▲ 17.3	257	▲ 14.5	0	0.000
7	245	200	45	1.369	12	▲ 20.3	199	▲ 29.9	0	0.000
8	219	225	▲ 6	1.367	14	0.9	281	7.7	0	0.000
9	215	250	▲ 35	1.366	12	▲ 4.7	216	▲ 7.8	0	0.001
10	224	212	11	1.362	11	▲ 16.8	184	▲ 12.4	1	0.005
11	200	197	2	1.364	14	▲ 6.1	243	▲ 9.5	61	0.250
12	510	191	319	1.356	12	▲ 8.7	197	▲ 9.6	6	0.032
2022 1	107	393	▲ 286	1.357	12	3.5	223	4.8	16	0.072
2	195	239	▲ 43	1.355	11	▲ 7.6	209	▲ 3.4	14	0.068
3	231	296	▲ 64	1.352	12	▲ 21.2	219	▲ 26.6	4	0.020
4	-	-	-	-	11	▲ 22.2	194	▲ 22.8	2	0.010
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)		県内金融機関 の預金残高 (末残)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2019FY	49,931	2.6	39,293	1.8	50,358	2.5	8,641	0.6	1,225	1.9
2020FY	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
2021FY	58,037	4.1	41,033	0.5	58,716	4.1	10,428	1.0	3,005	4.9
2021 3	55,734	11.6	40,847	4.0	56,384	12.0	10,320	19.4	2,865	133.8
4	57,066	10.6	40,714	4.2	57,685	10.9	10,326	16.3	2,958	119.2
5	57,305	8.6	40,752	3.5	57,922	8.9	10,327	11.4	2,981	100.3
6	57,507	6.1	40,754	3.0	58,131	6.4	10,378	6.8	2,988	67.6
7	57,281	5.8	40,763	2.5	57,962	6.1	10,422	4.6	2,993	47.8
8	57,394	4.8	40,751	2.0	58,038	5.0	10,419	3.3	2,997	35.5
9	57,072	4.6	41,019	2.4	57,742	4.9	10,534	3.6	2,995	26.8
10	57,462	4.8	41,015	2.5	58,113	5.0	10,513	2.8	2,999	22.3
11	57,690	4.1	40,692	1.5	58,280	4.2	10,491	2.2	2,995	19.1
12	57,604	3.8	41,195	2.3	58,314	4.0	10,470	0.8	3,001	15.2
2022 1	57,616	4.2	40,793	1.2	58,275	4.2	10,456	0.8	3,002	12.1
2	57,626	3.6	40,798	0.4	58,247	3.5	10,444	0.6	3,000	10.3
3	58,037	4.1	41,033	0.5	58,716	4.1	10,428	1.0	3,005	4.9
4	59,647	4.5	40,678	▲ 0.1	-	-	10,480	1.5	-	-
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。